

# Resection Guide

乳癌腫瘍切除器械

山口大学医学部附属病院 乳癌・内分泌腺外科 山本 滋先生監修



(写真は株式会社東鋼より提供)

Resection Guide  
乳癌腫瘍切除器械

【発明の名称】「組織切除補助器具」

【出願人】国立大学法人山口大学

【発明者】山口大学医学部乳腺・内分泌腺外科 講師 山本 滋

【実施先】株式会社東鋼

〒113-0033 東京都文京区本郷5-27-10

<http://www.toko-tool.co.jp>

お問合せは、03-3815-5811へお電話下さい。

## 【概要】

山本講師は多くの乳がん患者の乳房温存手術を重ねる中で、より確実に切除手術をするため、補助器具を考案し特許出願した。株式会社東鋼は、切削工具製造販売の実績を生かし、山口大学の山本講師との共同研究を行った。研究開発成果を用いて乳癌手術の時間短縮と切除範囲を最小限に温存し、傷の早期回復を目指した乳癌切除デバイスとして乳癌腫瘍切除器械を開発した。

この器具を市場に出すべく、2015年10月に独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に製造販売届書を提出し、受理された。届書での種別は「医療用鉗子(かんし)」であり、販売名は「リセクションガイド」。このたび商品化に成功し、販売を開始した。

## 【特徴】

- 最適な組織切除部分を範囲指定でき、必要最小限の切離範囲で正常な乳腺を温存できる。
- 肿瘍中心部分が触診可能である
- 組織を把握・維持し、電気メスで切離する2ステップの簡便操作により手術時間を短縮できる
- ガイドに沿って垂直に組織を切離するため切離面がきれいであり、正確な病理断端検索に寄与する